大正九年十二月十四日 第三種郵便物認可

新京日日新聞

朝刊

【本紙朝夕刊十二頁】

本紙定價 一部五錢 一ケ月壹圓五拾錢 郵税 一ケ月五十錢
廣告料金 普通一行 壹圓五十錢 特別一行 貳圓五十錢

發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局專用(3)三二三〇 營業局專用(3)三二〇五

發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 水越内之介

總動員法案遂に修正

原案字句の適用範圍を調整

本議會通過確實視さる

【東京國通】政府は今議會における重大法案として國民注視の的となつてゐる國家總動員法案を來週早々議會に提出すべく目下法制局において法案の整備を急ぐとゝもに貴衆兩院各派に對し同法案の趣旨を説明してこれが圓滿通過に極力努力してゐる、今日まで最も問題となつてゐる點は本法適用範圍に關する原文中「戰時または事變に際し」とある中の「事變」の意義が抽象的で頗る廣汎であるかの印象を與へてゐるに鑑み政府は貴衆兩院の意向を酌量し戰時（戰爭に準ずべき事變を含む）といふ字句に修正してその適用範圍を明確にし其他の點も法制上出來得る限り疑念なからしむるやう調整することゝなつた、さらに同法案中の委任勅令については右勅令設置に當り諮問機關として貴衆兩院議員ならびに學識經驗者よりなる委員會を設ける意向を有してゐる、かくして國家總動員法案は提出前に政府側の原案修正により結局本議會通過は確實とみられるに至つた

擧國一致の十三年度豫算案

政府原案無修正で承認

【東京國通】總額廿八億六千餘萬圓の十三年度豫算案に對し政、民兩黨をはじめ各派は九日それ〲幹部會及び代議士會を開いて豫算案に對する態度を協議した結果、各派とも擧國一致の建前より政府原案を無修正で承認する事に決した、よつて豫算分科會及び豫算總會に於ては討論を省略して之を可決し、十二日の本會議に於て各派大體一名づゝの代表者を送つて贊成論を行はしめ、全會一致政府原案を可決し、直ちに貴族院に送附することゝなつた、貴族院では十四日から豫算總會を開いて審議を開始する

臨時閣議

【東京國通】恩赦に關する手續その他決定のための臨時閣議は九日午前十一時五十五分から首相官邸において開會、近衞首相より來る十一日紀元の佳節に畏くも恩赦詔書渙發の御内意を拜したる旨を報告しこれが關係法令その他萬般の手續について協議、これを決定して午後零時十分散會した、よつて關係勅令ならびに訓令は十一日官報號外をもつて公佈即日施行されることになつた

中國聯合準備銀行

愈よ十一日期し開業

【東京國通】賀屋藏相は九日の定例參議會において、過般來現地において開設準備を進めてゐた中國聯合準備銀行はいよ〳〵來る十一日を期し開業する段取りになつたとの報告に接した旨の重要報告を行つた

靑島へ警察官大移駐

【天津九日發國通】中華民國臨時政府は各地の治安維持と災區の復興に專念努力を傾注してゐるが、山東省靑島市の警察官二千八百餘名が殆ど逃亡し、現在僅かに百餘名が殘つてゐる狀態なので、今回北京から二百十名、天津から三百名、合計五百十名の警察官を派遣し、靑島市方面の警察力擴充を斷行することゝなり右一行は天津市長潘毓桂氏、警察局長周恩靖氏等の訓示を受け八日午後十時半發列車で天津を出發九日塘沽より靑島に向つた、警察官の大量移駐は昭和七年第一次上海事變停戰協定地區警備のため北京より上海に派遣した事があるが今回はこれにつぐ大移駐で、

軍人軍屬救恤法

けふ公布即日施行

政府では戰時又は事變に際し從軍する軍人及び軍屬の死傷病の場合の待遇を改善して後顧の憂をなからしめ報國の至誠をつくさしめる爲今回勅令をもつて「戰時又は事變に際し從軍する軍人軍屬の救恤に關する件」並に院令をもつて同救恤規則を制定十日公布即日施行したが、右の法令は今次の日支事變に日滿共同防衞の立場より從軍した者にもこれを適用することゝなつた

▲戰時又は事變に際し從軍する軍人及び軍屬の救恤に關する件

軍人又は軍屬にして戰時又は事變に際し從軍中に傷痍をうけ若くは疾病に罹り又は死亡したるときは官吏恤金法による外、國務總理大臣の定むる所により本人若くはその遺族に特別恤金を給し又は療養の給付を爲すことを得

附　則

本法は公布の日よりこれを施行す

▲戰時又は事變に際し從軍する軍人及び軍屬救恤規則

第一條　特別恤金は特別遺族恤金及び特別障害恤金の二種とす

第二條　特別遺族恤金は軍人又は軍屬傷痍を受け又は疾病に罹りこれがため死亡したるときこれをその遺族に給す

第三條　特別遺族恤金の額は最終俸給の六ケ月分に相當する金額とし武功拔群なるときは最終俸給の二月分以内に相當する金額を給することを得

第四條　特別障害恤金は軍人又は軍屬傷痍を受け又は疾病に罹りこれがため不具廢疾となり因て退官又は退職したるときこれを給す

第五條　特別障害恤金の額は官吏恤金法特表に規定する金額の三分の二とす

第六條　療養の給付は軍人又は軍屬傷痍を受け又は疾病に罹り療養を要するとき治安部大臣の定むる所に依りこれを給す

第七條　特別恤金の給與に關しては本令に定むるものを除くの外官吏恤金法及官吏恤金法施行細則の規定を準用す

第八條　官吏恤金法の適要を受けざる軍人及び軍屬の救恤に關しては治安部大臣、國務總理大臣の承認を經て別に之を定む

第九條　本令を適要すべき事變は國務總理大臣別に之を定む

附　則

本令は「戰時又は事變に際し從軍する軍人及び軍屬の救恤に關する件」施行の日より之を施行す

滿洲國内における同盟國兵事行政

執行援助規定公布

先般日滿間に締結せられた治外法權撤廢及び滿鐵附屬地行政權の移讓に關する條約附屬協定（甲）第十八條の規定に基き日本帝國に留保したる兵事行政の執行を圓滑ならしむるため政府は八日の參議府會議の諮詢を經て十日勅令をもつて同盟國の帝國内における兵事行政の執行援助に關する件を公布即日施行した

▲同盟國の帝國内に於る兵事行政の執行援助に關する件

第一條　同盟國によりその兵事業務を處理することを委囑せられたる官吏（以下兵事員と稱す）は同盟國の兵事諸規定により同盟國官憲の指示をうけその擔當區域内における兵事業務を處理すべし

第二條　同盟國により兵事員の業務を補助すべきことを委囑せられたる官吏（以下兵事掛と稱す）は同盟國の兵事諸規定により兵事員の指揮をうけその事務に從事すべし

第三條　兵事員はその主管する兵事業務の處理に關し必要あるときはその所屬官署長又は關係官公署長に對し所要の援助を求むることを得

第四條　兵事員又は兵事掛の異動に當りてはその直屬所屬する官署長はその都度之を同盟國當該官憲に通報すべし

前項所屬官署長は關係官公署長は兵事員に基き所要の援助を爲すべし

第五條　兵事員又は兵事掛の官憲より要求ありたるときは官署長はその身分監督に當り必要なる措置を講ずべし

第六條　治安部大臣、省長、特別市長、警察總監、市長、警察廳長、縣長及旗長は同盟國の兵事に關する業務の實施を圓滑ならしむるため同盟國官憲より必要なる援助を求められたるときは之に協力すべし

駐伊外交官々制

けふ公布

昨年十二月イタリーの滿洲國承認によつて兩國間に公使を交換することゝなり徐紹卿氏が駐伊公使に内定し又イタリー國は駐奉總領事コルテーゼ氏を初代駐滿公使に任命することゝなつてゐるが、政府は八日の參議府會議の諮詢を經て左の如く十日イタリー駐在外交官々制を公布即日施行した

▲イタリー國駐在外交官々制

第一條　イタリー國に於て外交々渉其の他の事務を掌理せしむる爲同國に特命全權公使（簡任）を駐箚せしむ

第二條　特命全權公使の下に左の職員を置く

公使館參事官（一人）簡任又は薦任

公使館一等秘書官、公使館二等秘書官、公使館三等秘書官（二人）薦任

公使館主事（三人）委任

第三條　特命全權公使は部下の官吏を指揮監督しその功過に付國務總理大臣に具申す、公使館參事官は特命全權公使を補佐し事務を掌る

公使館一等秘書官、公使館二等秘書官、公使館三等秘書官は上司の命を承け事務を掌る、公使、主事は上司の指揮を承け事務に從事す

新政權確立まで

中支敵産を軍事管理

【上海九日發國通】中支において皇軍が占領せる地域における國民政府關係の財産處理に關し陸海軍當局は左の重要談を發表した

二月九日午後六時帝國陸海軍は中支方面占領地域一帶において新なる支那政權確立せらるゝまで右地域一帶に存在する敵産を軍事管理の下に置き調査保管その他必要なる緊急處置を講ずることに決せり、敵産の名儀變更にして昭和十二年八月十三日以降に屬するものはこれを認めず但し同日より昭和十三年一月十六日に至る期間において右に關し正當なる法律上の手續及び代價支拂を完了したるものは別に考慮することあるべし

不當な建艦通告要求

我方斷乎一蹴に決定

一兩日中に正式回答

【東京國通】英米佛三國より要求された建艦計畫通告に對してわが方は、かゝる不當なる要求を一蹴すべしとの根本方針を内定し、これが回答については外務、海軍兩當局に於て文案の作成を進めてゐたが、大體成案を得たので九日中に最後的決定をなし十日廣田外相より近衞首相その他關係閣僚に報告諒解を求め十一二日頃駐日三國大使を通じて正式回答を手交することになつた、しかして政府は各回答と同時にわが公正なる態度を中外に闡明するため聲明を發する方針でこれが打合せのため米内海相は九日閣議前近衞首相と會談、また海軍においては同日午前山本次官、井上軍務局長その他關係官が參集打合せを行つた

長沙に最初の空爆

海軍航空隊各地に痛彈

【上海九日發國通】海軍航空隊は九日午前三時森永大尉の指揮する編隊をもつて湖南省長沙に飛び地上に待機中の敵四機を爆破し、更に格納庫、倉庫を爆破炎上せしめ、猛烈なる高角砲の射撃を巧みに避けて全機無事歸還した、また岩谷中尉の指揮する一隊をもつて福建省建甌および浦城兩飛行場を爆撃多大の損害を與へて歸還した、なほ長沙爆撃は海軍航空隊として最初の爆撃行である

【上海九日發國通】海軍航空隊は二ケ月振りの快晴を利用し八日午後二時半廣梅大尉の指揮する一隊は宜昌飛行場を奇襲し大型機二機、小型機三機、格納庫二棟、附近建物四棟を爆破し、更に貯油庫とおぼしき建物を炎上せしめ、全機悠々歸還した外、德猪少佐の指揮する凡そ〇〇機の大編隊は銀翼を連ねて午後三時四十分山間を襲ひ漢陽兵工廠を爆撃し、主要大工場二棟を完全に爆破した、更に漢口飛行場に待機中の大型機一機、小型機二機、兵舍數棟及び格納庫その他飛行場施設を爆破炎上せしめ、更に抵抗し來つた敵カーチスフォーク一機を即座に擊墜、敵の猛烈な地上砲火を潜つて全機無事歸還した更に廣東附近を襲擊せる一隊は同方面の自動車道路及び軍用貨車數輛を爆破して多大の損害を與へ全機歸還した

淸豐縣城を占領

【彰德九日發國通】七日南樂を占領せる坂西部隊は破竹の勢をもつて南進を續け八日午後三時南樂を去る二十五キロ淸豐縣城に迫り同縣城を死守せる約八百の敵を攻擊、交戰二時間にして午後五時これを占領入城せり、敵は死體八十を遺棄して南方に潰亂せり、わが損害負傷兵一

地中海警備に

英、航空母艦派遣か

【ロンドン八日發國通】英國政府はエンデミオン號、アルシラ號とうち續く英國商船擊沈事件に鑑み急遽佛伊兩國政府を誘つて西地中海における警備を嚴にしたが、海軍專門家の意見では右警備區域においては最早潛水艦の商船襲擊は起り得ないと觀測してゐる

一方飛行機による襲擊に對する警備は未だ充分でなく八日U・Pロンドン支局の報道によれば、英國海軍はフランス海軍の例にならひ近く航空母艦を一隻同方面へ派遣することゝなるやも知れずといはれる

空軍の優勢も防禦の問題を解決せず

リー提督答ふ

【ワシントン八日發國通】米國下院海軍委員會は八日もリー作戰部長に對する質問を續行、空軍の防禦力、ハワイ防備問題などにつき各委員とリー作戰部長との間に左の如き質疑應答が行はれた

マーヴ議員　千臺の飛行機があれば敵空軍の來襲を阻止することが出來るか

リー提督　それだけの飛行機があれば敵國遠征軍の上陸は極めて困難となららう、最近日支紛爭における沿岸の攻防戰から見て余は自分が今まで持つてゐた空軍の防禦力に關する考へが樂觀に過ぎてゐたと思ふやうになつた、絶對的な空軍の優勢も防禦の問題を全部は解決し得ないやうだ

マック・グアル議員（民主黨）ハワイ群島をはじめ米國の保有する島嶼の防備は充分であるか

リー提督　米國海軍が活動能力を奪はれた曉にはこれ等の島を攻略することは敵國にとつては案外樂なことであらう、しかしハワイを失つても米大陸への侵入は必ずしも容易になるとは限らない

けふの貴衆兩院

▲貴族院　午前十時本會議を開き勅題憲法發布五十年記念祝賀式典に際し捧呈すべき上奏文案を上程可決し、ついで兵役法中改正法律案を上程委員附託とした後國務大臣の演説に對する質疑に移り田中館愛橘君首相に三室戸敬光子陸相に質問を行ふ

▲衆議院　午後一時本會議を開き憲法發布五十年記念式典に際する賀表捧呈の件をあげ起草委員十八名の起草委員をあげ起草後これを可決する、また午前十一時より豫算各分科會、午後三時より豫算總會を開き十三年度總豫算案を再檢討する

定例參議會

【東京國通】九日の定例參議會は松岡、秋田兩氏を除く各參議、政府側から近衞首相以下各閣僚出席して正午から首相官邸で開かれた、一同午餐を共にしたるのち谷公使から支那視察談を聽取しさらに芝罘占領、廣東クーデター、その後の一般情勢につき種々懇談を交し三時過ぎ散會した

滿鐵の使命愈よ重大

松岡總裁車中談

【東京國通】滿鐵總裁松岡洋右氏は八日午後東京發途中伊勢神宮に參拜歸任することゝなつたが、車中左の如く語つた

日本の最も必要とする石炭について日滿五ケ年計畫で千五百萬噸を滿洲から持つてくることになるが、この計畫を實現するためには滿鐵の人と物とを動員しなければならない、將來滿鐵の使命はいよ〳〵重大になることゝ確信する、黄河の治水問題に關し私見としては二億圓位の金を投資して大々的に抜本塞源的方法が必要と思ふ、つぎに農耕法の改良にも意を用ゆる必要があり、さらに支那古來の運河にも注意しなければならぬ、問題の北支鐵道については支那法人とし綜合會社の下に統制されよう、事業としては交通一般即ち鐵道汽船、バス等を始め將來は港灣、飛行機などに迄手を延ばしたいと思ふ、尚一部では設置問題を議論してゐるがこれは參議會の席上で發表した意見があつて私としては愼重に考慮し充分成案を持つてゐる、臨時經濟省とでも名付け民間の有力者を動員し文官任用令の除外例として廣く天下に人材を求め時艱を克服しなければならない、世間では私の進退にとやかくの風評があるがわたしは滿洲においてなすべき仕事を充分に果してしまふ迄は歸國しない心算である

昭和飛行機の平壤工場認可

【東京國通】昭和飛行機工業會社では平壤飛行場隣接地の二十二萬八千坪を買收し、飛行機の部分品その他關係品の製作並に修理工場を計畫中のところこの程正式認可があつた

平生氏記者團と會見談

植田關東軍司令官、石原參謀副長等と要談を遂げた元文相平生釟三郎氏は午後四時宿舍日滿軍人會館に於ける新聞記者團との會談に左の如く語つたが、前後の情勢より顧問就任は受諾するものとみられる

植田大將との會見は何も最高顧問就任に對する問題でなく單に挨拶をしたゞけだ北支と滿洲とは根本的立場が異つてゐるのだからそんな事を相談するわけはないではないか、只滿鐵の問題で偶々話が長くなつたゞけだ顧問就任は今こゝで何とも言へないが東京に歸つて政府に自分の抱負を述べた上で決定するが豫め醫師にも相談する考へだ、身體が弱くて續かねば計畫が中途で挫折するやうなら最初からやらない方がよい、顧問を引受けても日鐵の仕事に支障を來すことはない辭任しないのだから、現地で王克敏氏と會つたが歷とした政治的經歷と優れた手腕を有つ王氏は適任者だと思ふ、事をなすに餘り船頭が多くては駄目だ、實行してこそ現狀打開、進展があるのではないか、現在政府に確固たる政策があるか、偶發的な今度の事變は丁度盤のない將棋のやうなものだ、戰後の經營を如何にするかの根本方針はこれからだ

なほ平生氏は今朝七時四十五分發日滿連絡機で京城に向ふ

人事往來

▲柏岡淸勝氏（北海タイムス）九日來京ヤマトホテル
▲梅原松成氏（會社員）同
▲吉久農進氏（滿洲採金）同
國都ホテル
▲酒井節司氏（滿鐵社員）同
▲前田敬一郎氏（同）同
▲吉田省次郎氏（國際運輸）同
▲中村敏雄氏（共同印刷）同

偶語

戰捷の春建國祭を期して第二回國民精神總動員週間が開始される▼國民精神總動員週間は云はずと知れた出征將兵と同じ氣持で銃後の護りを固めることだ▼曰く剛健思想の涵養可なり、國防資源の擁護可なり、防諜運動可なり、國防獻金、恤兵金、出征兵遺家族慰問救濟大いに可なりである▼熱し易く冷め易き國民性の常として國防獻金、恤兵金が念頭から忘れ去られんとし▼出征將兵遺家族慰問救濟の足が漸次鈍りつゝある事は洵に遺憾千萬▼建國祭を期し我々は第一回週間以上の成果を收めるやう奮起しやうではないか▼今や日本國民は上下一致國難打開に邁進してゐるとき滿洲には紅燈の下ダンスに晝夜寢食を忘れて精勵する青年が在る▼然もその青年は國家の祿を食む日系官吏といふ醉を聞くとき同胞の感や如何

社說

最近の國共兩黨の關係

南京陥落後、蔣介石は漢口に於いて軍、政、黨各方面の幹部を召集し共產黨代表をも加へて屢々軍要會議を開催し國共兩黨の緊密なる聯繋協力の下に對日抗戰の第二段的作戰の確立を急いだものであつた。それは要するに蔣獨裁權力の再建を中心目標とするものに外ならなかつた。

ところで一方中國共產黨は國民黨勢力を全面的に煽動使嗾することによつて對日戰爭を勃發せしむることに成功したものゝ、僅かに半歳にも足りない間に國民黨の軍事上における相次ぐ慘敗、財政的危機の切迫、民心の動搖等が現はれ、日本側の國力は愈よその強大性を發揮するに至つたため、國民黨の犠牲において日本の國力を減殺せんとする當初の企圖は一應失敗に瀕しつゝあることを認めざるを得ないことになつた。そして上海陥落直後からは、共產黨側の動きは、日本國力の減殺よりも國民黨政權の乘取りへとその重點を移行させつゝあるものと見られるのである。山西における共產軍の狡獪な戰鬪廻避並びに裝備糧食補給の工作、國內における共產軍大勝の大々的宣傳、ソ聯の對支援助問題を通じて繰返し行はれて來た國民黨への強硬な要求等はこの間の消息を如實に物語るものであつた。

かゝる傾向は南京陥落後愈よ顯著となり、軍事的には陝西省延安の黨中央部を中心として各地に駐屯する共產軍の裝備の改善、兵力增強、訓練強化に一層の努力を傾け、政治的には周恩來、陳紹禹等を先頭に立てゝ國民黨政權內部の重要地位獲得の機を狙ひ、言論、宣傳方面においては全民族總動員による民族抗日戰爭の發動、民主政治の實施、ゲリラ戰術による徹底的長期抗戰の政行等をスローガンとして抗日人民戰線派の活動を強化するに至つた。

國民黨側としては共產黨の積極的な進出に對して種々の方法によつて防壓することに努めてゐるが、蔣介石の殘存戰鬪力は既に甚しく低下して居り、國內においてそれを補充する望みもなく、必然第三國の援助に頼らざるを得ないのである。而してかゝる援助を期待し得るのは英國とソ聯であるが、英國の目標は自國の利益の守護にあり或る程度日本との摩擦を避けやうとするのも當然である。これに反しソ聯は日本に對する立場を異にする。現在の如く窮迫した國民黨は共產勢力を內心恐れつゝもソ聯の援助に大いに期待せざるを得ない。ソ聯としてはあくまでも中國共產黨の發言權を擴大せんと努める兩者苟合の成り行きは蓋し注目に値ひするのである。蔣下野の噂なども既に起つてゐる國共兩黨の今後は漸次また妥協の破綻へと進む必然の理由があり、注視を要する。

對支工作具體化 外務新機關設置

白鳥公使を長官起用

【東京國通】對支戰局の進展に應ずる準備を整備し、且つ最近外務省東亞局を中心として對支積極的體制を整へるため擴大東亞局の如き新機關を新設すべしとの要望あることに鑑み、外務省ではこれが對策につき種々腐心してゐたがこの程これらの場合に處する態度を一決したので廣田外相は待命公使白鳥敏夫氏に對し最近中支および北支の視察を命じ、歸朝後同氏を右新機關の長官として起用することに大體の方針を內定した（寫眞は白鳥公使）

駐南京總領事 花輪義敬氏に內定

【東京國通】南京駐在總領事は昨年須磨彌吉郎氏が轉任して以來缺員となつてゐたが南京も陥落したのでこの機に後任を任命することゝし人選の結果現本省東亞局第三課長花輪義敬氏を任命することに內定近く正式發令することになつた、しかして花輪氏の後任としては差當り現同三課主席事務官瀧川欽哉氏を課長事務取扱に任命することゝなつてゐる

新銀行成立後は 第三國紙幣は自然消滅

【天津八日發國通】中國準備銀行はいよいよ來る十一日北京において創立總會を開催し名實共に國家の金融中樞機關として幣制の統一を期することゝなつたが、現在北支において發行權を持つ第三國銀行紙幣は中國準備銀行の設立と共に漸次その流通は消滅するものとみられる、卽ち北支において現在流通を見てゐる外國銀行券は滙豐銀行、麥加利銀行、花旗銀行、美豐銀行、河北銀行等五銀行の紙幣であり、その流通額も僅か廿數萬元程度で現實に紙幣を發行しつゝありといふよりも寧ろ嘗て發行せるものを引續き流通してゐるにとゞまり、多くは新規の發行を停止してゐる狀態である、一方臨時政府の通貨政策として納稅その他一切の公私機構の收付が新法幣に限られた曉は外國銀行券は完全に流通を制限され、市場より自然消滅の一途をたどるものとみられる

抗日テロ團の隊長就縛

【上海八日發國通】上海憲兵隊は打ち續く抗日テロの根源をつきとめるため努力中であつたが、去る卅一日正午蔘勇軍遊擊隊第二大隊の隊長某を逮捕目下嚴重取調中であるが右は昨年九月遊擊大隊長に任ぜられて以來抗日分子を使嗾して組織的に抗日テロ行爲を續け最近は日本軍に對し手榴彈を投ぜんとの不穩計畫をなしつゝあつたものである

支那將兵慰靈祭 南京で擧行

【南京八日發國通】南京攻略戰の際敵ながら最後まで首都を守り無敵皇軍の攻擊に戰死した支那軍將兵のため皇軍は八日午前九時より嚴かに慰靈祭を行つた、場所は挹江門內道路脇の芝地で「南京戰役支那陣歿將兵之墓」の墓標を建て菓子、果物を供へ日本側より軍司令官代理をはじめ支那側より自治委員會委員、有力者參列、日支双方の僧侶の懇ろなる回向を行つた

科學動員協議會 企畫院原案なる

各方面の代表的人物を網羅

【東京國通】政府はわが國防資源の充實は日滿支三國の天然資源の外にさらに科學的創造を圖る餘地ありとして、科學界の綜合的協力を求めるために學界に呼びかけて科學の總動員を圖ることゝなり、企畫院に對してこれが具體策の立案を命じた、企畫院に於ては關係各方面と折衝準備を進め大體原案を得たので近く協議會を開き院議を決定することゝなつた、而してこの目的は政府側から見れば上述の目的にあるが、一方學界の側から見れば

一、非常時局に際して科學者たる立場より國家に寄與をなすため各學界の連絡統一を圖りその綜合研究を對策するための中樞機關の設置を必要とする

一、國際的に國防科學の封鎖傾向のために科學の國際的交流がなくなり、學界の刺戟が少なくなり、その進步を鈍らせる懼れがあり、これが對策としても國內における學界相互の連絡と刺戟が從來よりも重要となつて來た

よつて企畫院は學界より大河內正敏、本田光太郎、澁澤元治、和田小六、大島義淸の各氏その他各方面の代表的權威者を網羅して科學動員協議會を設立せんとするものでその協議會設立後の活動はわが不足資源補塡問題に偉大なる貢獻をなし得るものとして各方面より重大なる關心が注がれてゐる

山東の金融 着々整備

【濟南八日發國通】山東省における金融調整は着々その實をあげてゐるが、金融調整委員會は六日中國側中國、交通、上海、大陸四銀行、日本側濟南銀行及び馬良治安維持會々長その他委員一同出席の上第三回委員會を開催し、目下濟南、靑島を中心に山東の治安恢復を見、日本側銀行はすでに開業し、また中國側各銀行もそれぞれ可及的速かなる復業について北京臨時政府及び中國聯合準備銀行に陳情打合せを行ふことを一致可決し、右陳情代表として治安維持會顧問淺井委員、中國、交通兩銀行代表者三名を決定した、しかして右三氏は八日朝陳情書を携へて濟南を出發北京に向つた

スペイン義勇兵撤收問題 再び難關に逢着

ソ聯飽くまで頑迷

【ロンドン八日發國通】久しく行詰り狀態にあつたスペイン義勇兵撤收問題は伊政府の一律五割引揚げ提案により俄然好轉を豫想されるに至つたが、駐英ソ聯大使イワン・マイスキー氏は八日不干涉委員會議長プリマス卿を訪問ソ聯政府はイタリー側の提唱する五割引揚案には未だ不滿足であり義勇兵の一律七割五分引揚を主張する旨言明した、右ソ聯政府の反對により義勇兵引揚問題は又復難關に逢着するに至つたが英國政府はグランジ大使との直接交涉により飽く迄局面を打開する意向の模樣で來る十一日開會豫定の不干涉分科委員會等も英、伊個別交涉の歸趨を見極める迄一時延期されるものと見られる、イーデン外相は九日グランジ大使と會見イタリー側の情報を要望する模樣である

言語に絶する 鮮人強制移住の實相

土地を捨て中央アジアの不毛地方に

【京城國通】ソ聯當局の非人道的暴擧により沿海州在住の半島同胞二十萬は死の脅怖のもとに多年居住せる土地を捨て中央アジアの不毛地方に強制移住せしめられたが、最近一同胞より嚴重なる官憲の監視の眼を餠けて外蒙を經て朝鮮の親族に寄せた書信によりソ聯當局の飽くなき暴虐が暴露した、卽ち右書面によると、昨年十月十二日ウラジオを出發した六百名の一行は途中あらゆる苦難を甜めつゝ二十一日ウランウデに到着 その際妻子の有無に拘らず屈強な青年のみ百五十名を強制下車せしめた、これ等青年はウランウデから外蒙アルタンボラックに通ずる軍用道路の建設に勞役させられると言はれる、他の五百五十名は十一月一日ノヴォシビリスクに到着同月三日には愈よトルクシブ鐵道に入りセミパラアンスクから五日目で滿目荒涼たる砂漠地帶に入る頃、携帶の食糧が缺乏するものが生じ、これ等は黑パンと鹽鰯若干が支給されたが、寒氣が加つて零下二十度を越える日が續いた、一行は八日目に列車六輛約三百名がこの砂漠中の小驛に下車せしめられた、この附近はかつて棉花栽培に失敗した土地である、殘餘は更に南下して途中百名を下し十一月廿九日八家族、獨身十二名（五十名弱）はアルマ・アタに到着それより二日徒步の後フルンゼ村に入つたがウラジオ出發當時ソ聯當局が約束した家屋農具、馬匹支給等は全然問題にされず、掘立小屋二軒に五十名が押込められ更に

支給

される黑パン鹽鰯は十三年度收穫が濟めば淸算させられるのである、到着後李と言ふ黨員が強制移住者中の青年一萬を募集、鮮人部隊を編成し、外蒙に送り外蒙を護ると共に國民政府を支援する計畫だとて青年の意向を質して步いたと言ふのであり、今や生きんとするためには銃殺の危險を冒して逃亡より外に途はないと訴へてゐる

蘭印一流土人商 華僑排斥運動

直接日本との貿易を企圖

【大阪國通】七日バタビヤから大阪某所に達した情報によれば、今回蘭印一流の土人商が華僑を排擊し一丸となつて土人資本による輸入會社を組織し從來華僑重壓下にあつて進展を阻害されてゐた土人商權の確立をはかるとゝもに直接日本との貿易を行ふことゝなり當地經濟界に多大の衝動を與へてゐると、卽ち新會社は合名組織のマレー輸入會社と稱し土民の生活必需品を直輸入して卸しを營む外蘭印物產の直輸出を行はんとする土人商による貿易會社で、資本金は差當り七萬五千ギルダーとし事後漸次增資することになつてゐる

陸軍豫科士官學校生徒 二千名を採用

【東京國通】陸の鳳雛となる昭和十三年度陸軍豫科士官學校生徒（本年十二月入學）および幼年學校生徒（明年四月入學）募集に關する規定が九日附官報で告示された、これに依ると豫科士官學校採用人員は一千八百名それに各地幼年學校出身を加へると實に二千名を突破するといふ同校創立以來の大量を入校せしめることになつた、一般志願者は來る四月一日から同六月廿日までに、陸軍部內の志願者は五月廿日までに願書を提出すればよい、なほ幼年學校は現在東京、廣島、仙臺の三校で採用人員は約六百名の豫定である

ニューヨークに情報圖書館設置

【東京國通】わが實業團體では帝國の公正なる國內事情を海外に知らしむるため海外主要都市に情報圖書館を設置すべき計畫を進めてゐたが、その第一步として愈よ四月よりニューヨークに情報圖書館を設置することに決定した、これは日本商工會議所をはじめ各經濟團體が出資するものであるが、外務省でもこの趣旨に贊成資金を補助する外通譯官を派遣するなど積極的に援助することゝなつた

建國祭諸行事盛大に擧行準備

【東京國通】戰時下紀元の佳節を壽ぐ建國祭は愈々來る十一日を期して全國一齊に海陸空の立體的プロも華々しく擧行されるが國民各層の湧き立つ愛國の至誠を反映して參加希望者は意外に多く七日迄に帝都各團體からの申込員は既に八萬を突破、當日の參加人員をはるかに破つて十七八萬人を豫想され全國では實に空前の一千五百萬人の參加が豫想されるに至つた、また文部省ではこの一大國民運動實施に當つて一層國民精神總動員の實を擧げるやうこの程各地方長官宛通牒を發し、各地方でもそれぞれ名案もがなと對策に腐心してゐるので當日の盛觀は一層期待されてゐる

民衆待望の市場開かれ 湧き返る杭州

【杭州八日發國通】物資の充足をモットーとして杭州の治安工作は次第に實を結びつゝあるが愈々待望の市場が八日から舊市場に開設された、九時の開場と言ふのに住民達は暗いうちから押かけ、賣手の農民達も野菜、魚鷄等を持つて市場前で待機する有樣、今日は初日のことゝて賣る方は二、三百人で開場後僅かに二時間餘りで賣切れたが、斯くて復興への力強い第一步は軍の統制下に踏出され、皆んな喜んで物を賣り物を買つてゐるが更に一週間以內に新市場が二、三開設され市場は日一日と繁昌に向ふことであらう

ソ聯飛行船 山頂に激突墜落

【モスクワ七日發國通】クドバンツエフ船長指揮のソヴィエト飛行船V六號は六日夕北海西端カンダラクシヤ西南方をムルマンスク方面へ向け航行中突如無電連絡杜絕し一方附近土民は午後七時頃機體の墜落した音を聞いたので卽時救援隊を組織し夜を徹して捜査に努めた結果七日拂曉に至り大破した同船の殘骸を發見した、乘組員十九名中船長以下十三名慘死し三名負傷した、原因は暗黑のため視野きかず山頂に衝突したものである、同船はモスクワ—ムルマンスク往復試驗飛行の途にあり、成功の曉はパパーニン北極探險隊一行の救援隊に參加することゝなつてゐた

日本郵船西鳳丸 上海航路に配置

【神戶國通】日本郵船では大連汽船より西鳳丸（七、五〇〇トン）を傭船上海航路に配置、來る十三日神戶を出帆せしめることゝなつた

アンチパス商會主 二百圓獻金

北滿在留外人の國境を超越した正義日本軍に對する支援の感激譜が奏でられつゝある中に哈市アンチパスウオツカ製造所主ギリシャ人S・L・メタコサス氏は八日日本赤十字哈市支部に第一線で雄々しく活躍を續けてゐる赤十字隊員を慰めて戴きたいと慰問金二百圓を添へ鶴見支部長に手交したが、氏の美擧に赤十字側では非常に感激し、前線に傳達することゝなつた

商況欄 九日後場

株式相場

●奉天株式（短期） 寄付 大引

銘柄	寄付	大引
滿取	一〇〇、四〇	一
新東	九三、三〇	一
大新	八六、五〇	一
滿重	[illegible]	[illegible]
日產	四〇、五〇	一
同新	[illegible]	[illegible]
五品	五九、六〇	[illegible]
同鐵	六四、四〇	[illegible]
滿紡	五三、四〇	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]
同甲	[illegible]	一
電毛	六六、〇〇	[illegible]
滿電	[illegible]	一
日業	[illegible]	[illegible]
電學	[illegible]	[illegible]
化學	[illegible]	[illegible]

●大連株式（短期） 寄付 大引

銘柄	寄付	大引
五品	一五、四〇	一
新東	一六九、四〇	一
滿重	八八、五〇	一
同新	七〇、〇〇	一
鐘紡	六〇、一〇	一
滿鐵	六五、一〇	一
日新	一三、五〇	一
土木	一二、五〇	一
豆新	一八、一〇	一

手形交換高（九日）

[illegible]枚 [illegible]

滿鐵附屬地卅年史

新京中學校沿革史（八）

設立から開校迄

校友會及び校友會圖書部

（1）新京中學校校友會

イ、創設

我が校友會は本校創立と同時に職員生徒一同を以て結成せられたのであるが、第一年目に於ては未だ生徒は一年生百名を有するに過ぎず、成文の會則もなく從つて目ぼしい活動も殆ど見られなかつた、行事の主なものは九月の運動會二月の氷上大會等に過ぎなかつた

唯一つ特筆大書すべきものは會誌「第一陣」の創刊である　大抵の學校では校友會誌創刊號といへば早くても創立二年目、普通は三年目とか四年目とかになつて發刊せられるものであるが、我が「第一陣」は本校創立第一年の終に於て本校創立を記念し併せて皇太子殿下御降誕並に滿洲國皇帝陛下御登極を慶賀し奉る意味に於て第一號を發刊したのであつた、以後毎年度一册づつ發行し、本校創立年數と號數を同じくしてゐるのである　なほ第一年目に於ては圖書を若干購入してゐる、これは今日の本校圖書部の基礎をなすものである

第二年目即ち昭和九年度に至つて本會はそのその形を備へて來た、先づ會員數は二百七十名に達した。會則が制定せられ、役員も任命せられた、かくしていよいよその活動が開始せられたのである

ロ、新京中學校校友會會則

第一條　本會は新京中學校校友會と稱し其の本部を新京中學校内に置く

第二條　本會は新京中學校職員生徒及び舊職員を以て組織し職員を特別會員生徒を普通會員舊職員を客員とす

第三條　本會は會員の自治活動により其の精神の修養をなし體育の向上を圖り併せて相互の親和を敦うし以て校風の健全なる發展を助成するものとす

第四條　本會目的を達成せんがために左の各科を置く　總務科　修養科　體育科

第五條　各科に屬する會務及び其の組織左の如し

（一）總務科　本科は本會と學校自治會との聯絡、本會の統制、會計、記錄、編輯、印刷通信、表彰、贈遺等の事に當り分ちて聯絡會計記錄庶務は四部とす

（二）修養科　本科は會員の修養に關する事業を遂行するものとし分けて研究、圖書、映畫、辯論、文藝、美術、音樂、奉仕の八部とす

（三）體育科　本科は會員の體育に關する事業を遂行するものとし分けて武道陸上競技球技水泳氷滑の五部とす　但し必要ある時は部を分ちて若干の小部となすことを得

第六條　本會に會長及び副會長一名を置く會長には學校長を推戴し副會長には首席教諭を推す

第七條　會長は本會を代表し一切の會務を統轄す　副會長は會長を補佐し又會長事故ある時は其の職務を代行す

第八條　各科の會務を處理する爲に各科に科長一名及び理事四名を置く

科長は特別會員中より會長之を委囑し其の任期を一年とす

理事は上級二ヶ學年より各二名を當該學年より互選し會長之を任命す其の任期を一ヶ年とす

第九條　各部の事務を處理する爲に各部に部長一名及び委員二名を置き必要ある時は係若干名を置く部長は特別會員中より會長之を委囑し其の任期を一ヶ年とす

委員は上級二ヶ學年より各一名を當該學年より互選し會長之を任命す其の任期を一ヶ年とす

係　學年又は學級より選出し部長之を任命す

第十條　各部の聯絡及び統制を圖るため理事長一名を置く　理事長は總務科理事中より會長之を任命し任期を一ヶ年とす

第十一條　本會の行事豫算決算等重要なる會務を評議する爲に特別會員及び普通會員中より若干名の評議員を置く

特別會員側評議員は會長之を委囑し普通會員側評議員は各學級より二名宛を互選し會長之を任命す其の任期を一ヶ年とす

第十二條　評議員は會長又は會長の許諾を得て理事長之を召集す

評議員會には各科及び理事も參加し表決に加はる

第十三條　特別會員は會費として毎月（但八月を除く）金一圓を普通會員は同金五十錢を醵出するものとす但し客員よりは之を徴せず

第十四條　普通會員は入會に際して入會金拾圓を納付するものとす

第十五條　本會に對し金品の寄附申出ありたる時は會長の裁量により之を受納することを得

第十六條　本會の經費は修養部を除き凡て本會々費を以て之に充當す入會金は特別の費途に充つ

第十七條　會長は必要に應じて總會又は役員會を召集す

第十八條　理事長は會長の許諾を得て役員會を開催することを得

第十九條　理事は科長の許諾を得て科の役員會を開催することを得

第二十條　各科理事は四月中に一ヶ年間の行事及びそれに要する經費の豫算を作成し當該科長を經て總務科に提出すべし

總務科長は理事長と合議の上之を整理して評議員に附議すべし

第二十一條　豫算の一部を更生する必要を生じたる時は評議員會の承認を求むべし

第二十二條　會計部長は毎年四月中を前年度の決算をなし評議員會の承認を求むべし

第二十三條　本會の年中行事豫算及び決算は總會に報告すべし

第二十四條　本會は年度末又は臨時に會員に對し表彰を行ふ表彰規定は別に之を定む

第二十五條　本會は特別會員の事故、轉退職及び普通會員の不幸等に對して適當な方法により會の意志を表明し或は金品を贈遺す贈遺規定は別に之を定む

第二十六條　本會に購買部を置く其の規定は別に之を定む

第二十七條　本會に關する詳細の規定は本會細則による

第二十八條　本會則の修正又は改廢の必要を生じたる時は評議員會の議を經て總會に附議し出席會員三分の二以上の贊成を得て之をなすべし

校友會會則附則

第一條　新京中學校々友會購買部を設く

第二條　本部は生徒に必要なる優良學用品を低廉に配給し兼ねて生徒をして德を修練し實務に習熟せしむるを以て目的とす

第三條　本部は本會之を直營するを原則とすれども事情により個人に委囑して配給をなさしむることあるべし委託配給に關する定款は別に之を定む

第四條　本部に部長一名を置き會長之を命ず

第五條　部長は會長の命を受けて本部を管理す

第六條　本部直營に關する細則は別に之を定む

讀者の領分

投稿歡迎　中傷不可

滿映俳優のこと

遥啓者滿映男演員曹敏素羅民二人品行不端有碍會社前途進展該管之長官爲於全無紀律受染惡影不能維持着即于二月一日將該員開革並通令未受革之男女演員不許一切通信及來往等字樣惟男女各演員有與曹素交情親密者大有人在昨聞曹素二人又來京大施運絡請求與友代爲向會社當道要求回滿映照常受訓側聞該男女演員各方求援說情恐木已成舟奈難收回成命想該社當道不知放虎歸山必定傷人莫如該同學齊酤道費使該二人回里另謀別業而免累害他人爲妙想曹素二人當能於他人設想原諒耳

△又一趣聞曹素在滿映時曾製作新西服一套新皮鞋一双共洋百餘元在舊年前放假時該某洋服店到該社找該二人討欠帳日該二人早已返瀋日前曹素二人來京正置某洋服店外櫃相遇同到二人寓所將洋服及皮鞋取回饒倖該洋服店不傷財矣　頼請

（不平人投）

一枚の切符で内鮮滿臺を周遊

觀光シーズンまでに實現

滿鐵、鮮鐵、鐵道省並びに關係船會社では一般觀光客の便宜を圖るため日本、朝鮮及滿洲の各觀光地を一枚の切符を以て遊覽出來る内鮮滿周遊券（鐵道二割引航路一割引）を發行してゐるが右周遊券を利用する場合はそのコースに一定の制限が加へられてをり旅行者にとつて窮屈な感じを與へてゐるので今回關係當事者の間で協議の結果右制限を全廢し觀光コースは旅行者の自由な選定にまかせると共に、その範圍を擴張し「常夏の國」として東洋觀光陣に異彩を放つ臺灣をも右周遊券發賣範圍に入れることに決定、近く實施の運びとなつた、なほ最近北支景氣の波に乘つて同方面を視察する旅行者も漸次增加の趨勢にあるので右周遊券發賣範圍を北支にまで延ばし一枚の切符で内地、朝鮮、滿洲から北支、臺灣をぐるりと一廻り出來るようにしようとの計畫も考へられてをり來る觀光シーズンまでには實現するものとみられてゐる

山内一豊の妻の話を聞き感激

コツコツ貯めた二十圓　卅六年汗の結晶を獻金

一、金貳拾圓也

内譯　銅貨新舊混合（二貫目）（右十四圓也）

銀貨新舊混合六圓也　朝日利吉

一、金五拾貳錢　朝日貞代

右獻金

とたどたどしい筆跡の一札とゝもにズッシリと重い金包を八日早朝陸軍省へ擔ぎこんだ一老人があつた、銅貨も古い大型の五十錢や廿錢ばかり、係の人が事情を訊ねると岐阜縣三輪村の朝日利吉さん（六四）といひ、卅六年前山内一豊の妻の話を聞き自分も一朝有事の際にとコツコツ貯金をして來たが、今度の事變も長期戰になつて國民は餘程覺悟を固めねばならぬと聞き醵金を思ひたつたのだが、頑固者の老人は貯めた現金を何とかそのまゝ陸軍に納めたいと村役場等に當つてみたが何處でも受付られず、それならと七日夜八里の夜道を岐阜驛に出で夜汽車に乘つて上京、まづ宮城と靖國神社を伏し拜んで陸軍省へ出頭したのだがまだ誰も出勤してゐないのだ、これこそ眞の尊い貧者の一燈と陸軍ではひどく感激してゐる

承德の遊覽バス本年度より開始

昨年春計畫實施の運びになつた承德遊覽バスの運行は、支那事變勃發のため沙汰やみの形になつてゐたが、北支の安定に伴ひ今春より當地への觀光客の激增を見越し錦縣鐵道局自動車區では本年度より遊覽バスの運行をなすことになり、各コース、その他の實測を行ふことゝなつた、なほコースは大體驛、離宮を經て市内を通り、南營子、忠靈塔間の豫定である

奉天省下　第一回圖書館長會議開催

奉天省民政廳は行政權移讓とゝもに滿鐵より接受した管下十一圖書館及び市立縣立圖書館の運營方法打合せのため九十の兩日午前十時より各圖書館長、社會教育擔當者を召集省公署禮堂において第一回圖書館長會議を開催、左の諸事項につき協議することゝなつた

一、圖書館規定の件

一、移讓後の圖書館經營方法

一、圖書館利用徹底の法則

一、機關紙發刊の件

一、學校圖書室設置の件

淨土宗總本山が日蒙親善に乘出す

喇嘛青年を留學生として招聘

【神戸國通】蒙古民族に親日精神を植ゑつけるため今回淨土宗會議で豫算廿一萬五千圓をもつて蒙古の喇嘛僧青年を日本留學生として招聘、佛教を通じて日蒙融和を圖る決議をしたが右決議により同宗總本山智恩院總務部長小林義道氏は同寺で佛教修業をしてゐる蒙古青年海福泉（二一）君を案内役として八日神戸發渡滿、奉天に至り七日から十四日迄奉天で開かれる全滿洲國の喇嘛教大會に出席、優秀喇嘛青年僧の日本留學斡旋方を依賴する筈である、なほ北京張家口、濟南等の寺院を視察し、ことに北京に於ては一千五百坪の土地を物色、佛教道場を建設する豫定である

日滿亞麻　六ケ所工場增設

日滿亞麻紡織會社では最近の急激なる需要增加に刺戟され相當大規模の增産計畫を考究中であつたが最近の重役會に於て取敢へず原料工場を六ケ所に增設し、第二段の策として製品工場の擴張を行ふ方針に決定した、當社は現在滿洲に呼蘭外十ケ所の工場を所有し、内地富山縣堀川に製品工場を所有してゐるが、今度新に設置される原料工場は佳木斯、蘭西、延壽、慶城、海屯、東京城の六ケ所であつて之と併行して既設原料工場の擴張も行ひ、更に内地富山の製品工場をも大々的に擴張する筈であるが之に要する資金は約百萬圓で拂込に依らず諸入金に依つて賄ふ方針に内定してゐる

山東省民今や全く皇軍の恩威に靡く

芝罘―青島間快速從軍記

【青島八日發國通】陸軍○○部隊麾下の沖快速部隊は山東半島東北地區を走驅すること六百キロ、雪解けの惡道路と戰ひ殘敵掃蕩の肅清工作を見事に完成して八日未明青島に凱旋した、以下は芝罘、青島間の神速從軍記である、芝罘は既に明朗化したので沖快速部隊は五日朝その警備を海軍陸戰隊に引繼ぎ渤海の肌を刺す寒風を衝いて驀進を開始、○○○臺の裝甲車は快走する右は寒波躍る渤海、左は一望千里の大氷源、沿道村落の支那民衆はわが近代快速部隊の威容に眼を見張つて見送る、市民代表約十名の出迎へを受け、午後六時民衆の爆發する歡呼に迎へられて黄縣に入市する

□

美しい支那藝者五名も歡迎に交る、民衆にキャラメル、ビスケット、煙草等をやつて至るところ日支親善の朗景が展開された、縣知事や官吏は既に官金十五萬元をもつて逃亡し、僅かに商務會が中心で治安を維持してゐたのだ、翌六日午前九時沖部隊は二隊に分れ、長尾部隊は龍口へ直進し沖本部隊は金鑛のある招遠を迂回して進み正午過ぎ何れも龍口についた、こゝでも大歡迎を受ける、龍口商務會長孟吉堂氏等代表百名が三百人前の支那料理をつくり、郊外まで出迎へて歡迎親善の挨拶を述べてゐる、そして沖部隊長から北京の新政權の成立を告げられるや初耳とばかり驚くやら喜ぶやら、孟會長は市民を代表して新政權に忠誠を誓ひ、皇軍萬歲を叫ぶ、龍口はわが沿岸封鎖で極度に物資の缺乏を告げてゐるが見渡す商品は九分九厘まで日本商品ばかりである、孟會長は公安局長張書文が逃亡する際龍口から五萬元の金を掠奪して行つたことを語り、皇軍の軍規嚴正寸毫も犯さざるに眼を丸くしてゐた、休憩僅かに四時間龍口を出發物凄いばかりの歡送裡に黄山館に向つたが二キロばかり南西に走ると橋梁が破壞されてゐる、この地點から萊州まで約十キロの間濟と言ふ橋は全部破壞されてゐた行軍に惱まされること夥しいこれを修復しながら進む軍の苦勞も並大抵のことではなく南下また南下、七日午前二時三十分眞夜中萊州に到着した人口五萬、裕福な街である、石疊を敷きつめた街路も美しく家並みも堂々たるものだがこゝも古い五色旗が戸毎に揭げられてゐる、日本語の出來る支那人が街に多い、こゝでも縣知事が四萬元を持逃げしたと聞かされる

□

午後四時十分頃萊州發一路青島に向ふ、芝罘、青島の神速從軍でわれ等は海岸線に沿うて至るところ敵陣地を見たが何時ものことながら支那人の防禦陣地の上手なのには驚かされた、即ち浪打ち際に塹壕そのすぐ後に戰車壕、交通壕掩蔽壕、更にその上トーチカ陣地を構築する三段構へだ、この地區に住む支那住民は全部宣統帝による清朝復辟を期待して數十年間に亘り五色旗（長方形の正式旗）をその儘持つてゐたのだ、この地區は日滿兩國と一葦帶水だ、この民衆は既に日滿支三國の親善提携の要を痛感し更にこゝに皇軍の秋毫犯さざる信義に感激してゐる、今や山東の東北地區またあまねく安居樂業の旗が朗かに上つてゐる

家庭

御注意なさい 健康の素！

かうした研究心が必要

おむつは

赤ちゃんを育てる樂みの中にも何といつても厄介なのはオムツでせう。しかし赤ちゃんの健康と發育の上に又良い習慣をつける上に、このオムツほど大切なものはないので、その用ひ方には十分な注意を拂つていたゞきたいと思ひます。

先づ之までの長方形のおムツ、あれは一巾の布で兩側から合せるやうにして卷くものですから、生後二ケ月位まではいゝとしてもそれ以後になると赤ちゃんの足の運動をさまたげると同時に、お腹を壓迫して非常によくありません。しひて三角オムツになさいとは申しませんが、之までのものでも巾をずつとせまくして腰の部分にだけ卷くやうにしていたゞきたいと思ひます。さうすると着物をよごすといふ心配が或は出來て來ませうが、そのためにはオムツカバーを用ひます、一般にオムツカバーといふと、もう這ひ出したりヨチ〱歩いたりする子供に主に使はれてゐるやうですが、そんな時分には、もうオムツなど使はないですむやうな習慣をつけておかねばなりません、實際日本ではあまりいつまでもオムツを使ひ過ぎます。お誕生には勿論一年半にしてもまだ使つてゐるとはお母さんも少しはづかしいことです、三ケ月もしたらもう時間をきめてしてやるやうに但し寒い間は室内に便器を置いてそれにさせる樣に一日に何回といふことは母乳と人工榮養により、又赤ちゃんによつてちがひますが、それはオムツがよごれるのを見てもわかるはずです、やがてこのことは便秘しない習慣、その他規則正しい生活の習慣をつけるの第一歩なのです。

オムツカバーもゴム引のものは冬にはからだを冷し、夏には蒸るし新陳代謝をさまたげるものですから、これは特別な場合以外は避けていたゞきたいのです、冬はネル、毛織、毛糸編のモノ、夏はメリンス、英ネルのうすいものなどがよいでせう、赤ちゃんにはオムツも衣服の一部なのですから季節に應じて、加減します。

次にお洗濯ですが、理想的にはよごれたのをはずしたらその度にすぐ洗ふのですが、さういかないなら、水を入れたバケツを用意しておいて水浸にしておくのです、そして一日のをまとめて洗ひます。

人間を創り變へる 偉大、科學の進歩

―近代美意識の産物―

醫學博士　内田孝藏

近頃は著しく婦人の洋裝がふえてまいりましたが、日本婦人の身體の特色の樣に洋裝にともなふ最も大きな惱みは大根脚です、しかしこれも醫術の進歩と共に近頃では割に簡單な手術によつて過剩な脂肪を除去し、すつきりとした脚にすることが出來ることは既に一般の常識になつてまゐりました。

▽…脚を切り取るなど、ひどく亂暴でいたいことのやうに驚く方もあるでせうが、それ程痛いこともなく、脂肪を除くだけですから筋肉や骨、脚の動きなどには何の影響もありません、また一度切つても暫くたてばまた元通りになるであらうと心配のむきもあるやうですが元通りに脂肪のたまる事は無いもので、永久的の手術です

▽…過剩な肉を削つて細くするのと反對に、近代醫學ではまた痩せた處、小さい部分をふとらせて大きく豐かにする方法も考へられて居ります、隆鼻術、豐頬術などがそれです、これも最初のうちはかなり失敗も多く、せつかく隆鼻術をしたが、パラフインが固まつて團子のやうな鼻になつたとか、さま〲の悲劇がありましたまた隆鼻術よりも遲く、ごく近年に發達して來た豐頬術の如きは、全く近代的な美意識の要求にもとづくものです、瓜實顔のほつそりした顔が美人ともてはやされた昔に對して、ふくよかな頬の所謂丸ぽちや顔が美人といはれるやうになつた現代人の感覺が痩せた頬をもうすこし肉付きよくする法はないものかと考へさせるやうになつたのでありませう。

▽…併し、この豐頬術も、うかり太らせやうとして、あたら美人の顔にコブを作つて終つたりする危險が伴つてゐました、これは肥えさせるのは、痩せさせる以上に困難なことを證明して居ります、そこで最も進歩した整形術では、豐頬術にも逆手を用ひて、過剩な脂肪を除くことによりふくよかな頬に見せる法を行つて居ります、日本人は一般に骨が高く、そのため下の頬は落ちこけた感じに見えてゐる場合が多いのです、この骨を低くすれば、容易に頬はふくよかに見えるわけで、目的は危險なく達せられます、これも骨の上にもりあがつて容貌をみにくゝ見せてゐる脂肪を拔去るだけで、切つた跡は全く目立ちません。

▽…持つて生れた容貌は厭でも一生ついて廻るものとされ、どんな美人でも年をとればみにくゝなるときまつたやうに思はれてゐた宿命的な考へ方も、科學の進歩と共に年々に訂正されつゝあるのは面白いことではありませんか。

汽車の旅！ 疲れ如何は寝台にある

では、利口な位置の選び方？

この頃は三等車にも寝台が出來たので寝台の利用者がますます多くなりましたが、同じ汽車の寝台でもその位置により、寝る向きにより、その他によつて心地よい睡眠に樂しい旅も出來ればがつかりする程疲れることもあります、ではどうした位置をとるのが最も利口なのでせうか？

（頭の方向）

先づ汽車の進行の方向に頭を向けて置くのが第一、これはエレベーター等で皆樣よく經驗していらつしやることで上にのぼる時は何でもないのに下に降る時はまことにいやな氣持がする、それと同じ理由です、といつても汽車のはつくりつけでこちらの自由になりません、二等寝台の方はちやんとそのやうに出來て居ますが、三等の方はベットが横についてゐますから、いやでもそれは横に進まされます、しかしこの時は頭を仰向けや、後向きにしないで、やはり進行の方向に向けてゐる方がよいはずです。

（震動と方向）

次には震動ですが列車は常に横に揺れてゐます、ですからこの場合は二等の寝台だと縦に寝てゐるので殆ど頭と足を持つて振られてゐるやうな工合になります、船に乘つたことのある方はローリング（横揺れ）とピッチング（縦揺れ）とを御存じでせう、その點三等寝台は縦に揺れることゝなるのでその寝心地は三等の方がよいと云ふことになります。

（寝台の高さ）

次に寝台の一階、二階、三階とあるうちどれがよろしいでせうこれは列車の設計と其重心の位置によりますが、まああまり上にあると顛覆の虞れがありますから、比較的下にあると見ると、其重心に近いところ、つまり一番下の段が震動の最も少いことになりますそして上にある程あたまを振るので大揺れになりませう。

（寝台の位置）

更に一つの箱の中で、端がよいか眞中がよいかといふと、それは勿論眞中です、汽車もこれまでの特急から流線型になりなほスピードは今後ますます早くなりませうが、むき出しでない列車の中に入つてゐる限り、このスピードは直接には影響しませんが、たゞレールが現在のは非常にデコボコなため早くなればなるほど細かい震動が強くなるのです、これが今後も私達の汽車の旅を疲らす大きな原因でありませう。

どんな御馳走にもまさる 珍味 人参料理

殊に榮養價百％

野菜の中でも人参はヴイタミンABCを完全に含んでゐて、その他の榮養素も豐富にあり、身體のためにはどんな御馳走よりも大切な食べもの一つですが、特有の味と香りのために嫌ひな人が大部多いやうです。

殊に子供にその傾向があつて、殆ど見るのも嫌ひだと言ふ子供が却々多いのは、子供の榮養上から言つて全く困つたことです、こんなに容易に手に入つて身體に效く野菜は珍しく、全く貴重なものですから、嫌ひな子供にも何とか工夫を凝らして與へて見ませう。

▲形を變へる……人参嫌ひには例の形や色が氣に障るので、なるべく人参の形を變へてしまふのがよい、例へば擂卸して大根卸しと混合せ味の素を少し入れて醬油をかけて食べさせたり、コロッケに細かく刻んで入れるのもよく、殊に子供の大好きな料理の中へ見えないやうに細かく刻んで加へてなければ厭がりません、汁にも擂卸して全部見えなくしてまひ、別な汁の實を入れてをけば人参とは氣附きません。

▲空腹に與へる……好き嫌ひのあるのはいつも思ふ儘のものを食べてゐるか、又は間食で始終お腹をくちくしてゐるやうな子供に多く、お腹が空けば好き嫌ひなどは云つてはゐられぬものです、それで學校の歸りが遲れてお腹を空かしてゐる時や、又お使ひや仕事で非常に食慾のある時は思ひ切つて人参料理を出して御らんなさい、然しまづくては可愛想ですから、飛び切り味をよくして與へ、「サア食べてごらん、食べれば食べる程、味がよくなるもんですよ」と言ふ樣に傍らからすゝめ、一口毎に「どう？おいしいでしよ」と念を押せば小さい子供等はつい心が釣られてしまふのと空腹においしいので、それ程嫌からずに食べてしまひます。

▲味を變へる……人参のどこが嫌だと言ふと大抵は例の味が厭だと言ふから、先づ味を變へてしまつてから徐々に慣らすが良い、煮〆のやうに丸のまゝ出すのは決して效めがない、なるべく油で炒めるやうなもの、肉をつかふもの、葱類を使ふものに混ぜると人参の味は消されてしまふから效果的です、精進揚、炒め御飯、肉や玉葱の煮込み生葱や胡椒のきいたもの、その他何でも子供の好きさうでゐて、人参を入れてもわからないやうな料理を狙つて入れゝば覿面に效きます。

ラヂオ

けふの番組

〔M・T・O・Y 新京放送局〕 十日（木曜日）

朝

七、五〇ラヂオ體操・入港船のお知らせ（大連）
八、一〇ニュース
八、二〇中等滿洲語講座 氣象通報（大連）
講師 秩父固太郎
八、四五朝の音樂（大連）
九、〇五經濟市況（東京）
九、三〇經濟市況（東京）
九、四五建國體操
一〇、〇〇家庭講座（牡丹江）
家庭療法の常識 博愛病院長 加藤鈴枝
一〇、二五料理獻立（奉天）
一〇、三五家庭メモ
一〇、四〇經濟市況

晝

一一、三五經濟市況（大連・新京）
一一、四〇經濟市況（大連）
一一、五九時報（東京）
〇、〇一晝の演藝（レコード）
〇、三〇ニュース（東京・新京）
一、〇〇經濟市況（大連・新京）
三、〇〇經濟市況（大連・新京）
三、四〇經濟市況（東京）
四、〇〇ニュース（東京）
ニュース・氣象通報（新京）
四、四〇經濟市況（大連・新京）
五、二〇ニュース（鮮語）
俗謠（鮮語） 金錦紅 外
一、楚漢歌 二、白打鈴 三、梁山道 四、農夫歌

夜

六、〇〇子供の時間
童謠 泣虫さいちゃん 有賀譯登
六、二〇コドモの新聞（東京） 村岡花子
六、二五趣味講演（安東）
大原少佐と大亞細亞 鎭江山臨濟寺貫主 足立宗詮
七、〇〇ニュース（東京）
ニュース・告知事項 番組豫告（新京）
七、三〇國民歌謠（大阪）
一、月の夜更けに 鈴木富美子 外
伴奏 大阪ラヂオオーケストラ
七、四〇講演（東京）
時艱下の農家經營 農學博士 佐藤寛次
八、〇〇ラヂオ社會面（大阪）
八、三〇ピアノ獨奏（東京）
パウル・ワインガルテン
奏鳴曲へ短調 作品五 ブラームス作曲 第一樂章＝第五樂章
八、五五連續講談（東京）
男達昔風俗 終席 神田伯龍
九、二〇時報・ニュース・ニュース解説（東京）
ニュース・氣象通報
告知事項・番組豫告（新京）
一〇、二〇ニュース再放送
一〇、三〇北滿の時間（哈爾濱）
アナウンサー 宮岡 野村 上森

學藝

入選佳作 乙女心（一）

桐生舍

美保子は年賀の端書の中に哈爾濱の姉から來た角封の手紙を見出した。若しや佐倉方雄からせめて年賀の端書位でも來ては居ないものかと何十となく來てゐる年賀狀を一々丹念に調べてゐたのだつた。

生れて始めて迎へる內地でのお正月は丁度滿洲の三月末位の氣候のやうに彼女には感ぜられた。外には麗かな陽春の日光が燦々とさして、翠綠の滴るやうな小松、深綠の三本の高野山杉や眞赤な實をした南天が檜葉垣に圍まれた小さな庭の眞黑の土の上に色彩を添へてゐるのが、紙障子にはまつた一枚のガラスを通して見えるのであつた。

美保子は障子を開けて、緣側に出た。そしてこの新春の日の良く當る緣側に置いてある福壽草の鉢の側に坐つて、太陽を背にして姉からの手紙の封を切つた。

「……今年は時局柄滿洲では年賀狀廢止に何處の御役所でも決まつたので、いつもなら今頃は年賀狀の宛名を書かされて大忙しだつたのが無くて大助りです、それに御廻禮も禁止されたとかで、二人切りでさぞのんびりしたお正月が出來ることゝ思ひます。でも南京が陷落した戰捷のお正月だけにお役所の若い人達はきつとお芽出たいお正月だと云つて大に祝はうなんて吞みにやつて來るんぢやないかとも思はれるし、昨晩も話した事なんですが〇〇溫泉へでも、久し振りに新婚氣分を想ひ出しに行かうかとも考へてゐるの、このお手紙が今年の最後のお便りになるでせう。美保ちやんもお父さんやお母さんの云ふことをよく聞いて、來年はよいお智さんでもお持ちなさい」

「あら、非道いお姉樣」美保子はこの手紙を讀んで泣き出したいやうな氣持に襲はれたそしてこの手紙を元通りに丁寧に疊んで封筒に入れると、改めて切手の上の消印を見て胸元に收めると立ち上つて御影石の踏石の上の庭下駄を履きかけたが、止めて緣側に腰を下ろした。東京行の郊外電車の通る音が微かに聞え、一丁位先の八幡社の杉の森が青空に高く聳えてゐる。だが美保子はそんなことは意識しないやうに、青い空の一點を見つめてゐた。否見つめてゐるのではなかつた。滿洲での過ぎ來しことを想ひ出してゐた。

美保子は滿洲生れで、滿洲に育つた少女であつた。兩親を除いて兄も姉も、今年高等學校に入つた弟も內地に生活したことは無かつた。美保子は大連の女學校の時一度學校の修學旅行で東京迄行つた事があつたが內地は煩い、せゝこましいと云つた感じしか受けなかつた。それは旅行者としての感じではあつたらうが確に滿洲より景色はよかつたが其處に住みたいと云ふ氣はしなかつた。長途の旅行で東京に行つた時は疲勞してゐた故でもあらうが一刻も早く大連へ歸りたいといふ氣持で一杯であつた。

美保子が女學校を出て〇〇のタイピストとして勤めた年の九月に兩親は退職金を澤山に貰つて滿鐵をやめて高等學校受驗希望の弟を連れて內地に錦を飾つたのであつた。その時でさへ美保子は親の意思に從ふことはせずに滿洲に踏み留まつた。それは學窓を出てタイピストとして覗いた社會が單に面白いと云ふのではなく、滿洲そのものに大に魅せられてゐたのであつた。それは滿洲に育つたもののみが感得せらるゝものであつた。幸に嫁いだ姉や兄が「まあ、美保子は私達が面倒見ますから」と助け舟を出して吳れたのでやつと滿洲に留ることが出來たのであつた。そして兩親と弟とは父の故鄉のこの東京から少し離れた地に家を建てゝ住み、美保子は兄の家に厄介になることになつた。（つゞく）

「悲劇について」 冬夜雜記 5

大內隆雄

「ハムレット」——この芝居は築地小劇場の舞台でも觀たことがあるが、曾つてそれを戲畫化したのをエノケン一座が上演したのを觀たことがあつた。時代劇で「あゝそれなのに」を合唱する連中のことである、エノケンのハムレットともなれば例の「生くべきか死ぬべきか」の名台詞を悲痛な聲で張り上げる悲劇人が實に赤いヨーヨーを持つて張り出し舞台を橫切つて行つたものである。悲痛なもののなかに何か滑稽な、或ひはとぼけたものが混つて存在する場合、それを觀る者の悲痛感は愈よはげしいこと、たとへば例の山中貞雄の「人情紙風船」の最後の場面に於ける紙風船を以つても知るべきであらう。エノケンのヨーヨーについては、英文學者岡倉由三郎がその着想の妙を大いに賞揚してゐたのも宜なる哉。

斯う書いて來て思ふことは近頃の作家たちが、いかに悲劇といふべきものを書くことを勘いかといふことについてである。手近かに滿洲でものを書く諸君の作品を取つて見ても、いかにもそのやうたテーマは少い。實際社會ではそのやうな事實は澤山ある筈なのに、彼等は書かうとしない。不思議なことに思はれるのである。もとより二、三の例外はあるけれどだ。

むろん下手に悲劇を書いては通俗に墮しやすいに違ひない。これは悲劇といふその事自體のなかにいはば通俗的なものが多分に含まれてゐるからであらう。だから下手な模寫では三面記事の再版、乃至お淚頂戴映畫の梗概になつてしまふのである。そこで些かずるくはあるが、要領良くこの陷穽を脫れる方法はたとへばハムレットにヨーヨーを持たせることだと僕は思ふのである。その時、小說の主人公は三面記事的人物から脫殼し商品映畫的マンネリズムから更生することが出來るであらう。

一方に諷刺小說、ユーモア小說と稱さるべきものは仲々數多くある。これは言つて見ればハムレットのヨーヨーが行き過ぎたものでもあらうかセルヴアンテスの「ドンキホーテ」が果して諷刺物語であるか、それとも一つの悲劇であるかは容易に決定し難いのを思ふべきである。人物の二つの型をハムレットとドンキホーテとを借り來つて對照させたのはツルゲーネフであつたが、思へばハムレットもドンキホーテも一つの人間の裏と表なのではないか。シャリアピンが熟演したドンキホーテは明らかにハムレットとの接近を示してゐた。ただこのハムレットは心中に屈せざる信念を持つてゐた、具象的にはすぐれたるひよろひよろ驢馬を持つてゐた。エノケンのヨーヨーの類ひである。この信念ゆゑに彼の悲劇は痛切であつた。それは風車に捲き上げられてくるくる振り廻された。

それにしても、物語「ドンキホーテ」では數多くの劍俠武勇談が焚かれた。今日でも焚かるべき書物は數多いのかも知れぬ、また現に焚かれると同じ日に遭つた一騎の書物もある。こゝにも悲劇の種子はある。ハムレットを創り出さうと、或ひはドンキホーテを創り出さうと材料は豐富だと言ふべきである。ただこの場合のハムレットに何を持たせるか、それは文學の書き手が考へなければならぬ。（二、六）

短歌と滿洲（D）

甲斐雅人

先に記した、門司の山々に對した僕の感覺が知覺となつた瞬間に生じた感情の落差は正しくかゝる意味の上に立つ滿洲性の發現の一つの場合である。さらに川田順氏の作をもふり返らう。ここにある素材は滿洲である。しかしてその感情角度とはたしかに日本性の滲潤せる精神を示唆しないであらうか。「見ゆるもの何もなき」に疲るゝ主觀とは異國の事象に疲るゝといふよりは事象の異國性に對して震盪せられし感動態ではないか。この異國性による滿洲性の發見がまさに旅行者の淺薄をいはれる點であり、この小論にあつてはすでに揚棄した場合である。自然事象にとゞまらず、滿洲の社會機構の方面からの刺戟も勿論考へなければならぬ。滿洲文壇にあつてこの頃頻りにきかれる新生面待望の聲々は正にこの方面の強力なる顯示であらう。

しかし實例をくどくどのべる事をよすと現れるテーマは影響の問題である。

影響には影響するものと影響されるものとがある。今精神に影響する氣分からの外界の力を考へてきたのであるが短歌に局限し感動に基準するとき、影響するものこそ精神外界こそ影響されるものといふごとき理解に立たねばならぬ。創作行爲の先頭に疾驅する感動力こそは、單なる狀態の認識機能の了解以上に操作的秩序の激勵をなさねばならぬからである。

氣候の影響にしても一般的なものと特殊な影響がある。特殊な影響とは外界に何等の影響を有しないとみられる場合である。しかし自然及び人間から全く獨立してゐるといふ人を考へる事が不可能であるとの人々の智慧が「星」の影響といふ事を考へ出した。一般的な諸影響の中から一人の天才が一點の最も强力な影響素を發掘する。特殊な影響とは正にかゝるものであり、發掘に精神の行動力を感得し得る。一般的影響とはそれは卑俗である無意識的である。—テエヌが專ら一般的影響を問題にしたとは彼の決論好みの傾向にふさはしかつたからであります。—ジイド。

感動を確立させ、外界に積極的に行動するといふときこそ短歌感動であり、外界の影響は最も特殊の風丰に輝く。感動の滿洲性。滿洲性の感情の上に立脚して安泰たるべきである。

（一三、一、二八）

獨特の境地

永井荷風「おもかげ」（『中央公論』二月號）

バクダキキ

昨年「墨東綺譚」の一作によつて絕大な好評を得たこの作者が、老いて益々旺んな意氣を見せてゐることは喜ぶべきであらう。むろん、讀者は彼に對して今日の時勢と關聯した何らかの思想などを求めようとするのではない。一種風格ある生活態度、そこから生れる世情觀察、それを書き現はした美しい名文を愛好するだけである。

「おもかげ」——この作品では主人公が一介の圓タク運轉手である所に妙味があらう。ただこの運轉手も妙に世の中に對して背中を向け、何か人情極はまつて俗世間に反抗するといふやうな決然たる生活態度を持してゐるところがいかにもこの作者のものである。

若い日に愛した女が死んだ。それから、あぢけなくなつて、その女に似たレヴューの踊り子に身も世もないほどの、自分の胸のうちだけでののぼせ方を示しながら、一方では或る年增とへんな交渉を持つたりして暮してゐる。その踊り子もやがて無理な生活をして死んでゆく。ますます悲しくなつて爾來奔放な漁肉の生活にふけるといふ東京は新吉原を背景に、その男に語らせた物語。

しよせん、味はふべきはこの作者の獨特な持ち味であらう。純情と頹廢とが入れ混つてあやしい色彩を織り出す、その行文の巧みさを妙とすべきであらう。もはやふるびた內容しかない。ただ作者自身がそれに滿足し、それを誇つてゐるのであるから、批評家も今は一般の讀者に伍して、その好むところを愛するの外はないのである。（御垣衞士）

愚を守りて（拾句）

松尾大大

○愚を守りて春立つ滿洲に意なし
○滿洲の春爛瓶に氷點下の音を聽く
○寒と戰ふ煙りに光る星ありぬ
○酷寒に破裂する黑煙の面白さをジツト見る
○太陽灼ける氷の上は子供等のもの
○氷滑る靴先に太陽はついてくる
○娘の名を呼べばスケートの群から手をあげし
○河獺の襟立つて會館からなだれ去る
○零下三十度ダンス麻雀に更けてゆく
○氷點下に沈む首都は靜かに憩る底

（二月四日）

健康週間の犧打

隣組放送

また引合ひに出すが「健康滿洲」の江草茂▼先頃催された健康週間の最終日に「隗より始め」とあつてサツソウとスケート場に乘り込んだ▼そこまではよかつたのだが、滑り始めたとみるやトタンにスッテンコロリとひつくり返りそれつきり起き上れない▼余程思ひ切つて腰のあたりを打ちつけたと見えて、骨が一本折れたとか、ひん曲つたとかで、以來自動車で病院へ日參の身とはなつた▼江草醜じて言ふに「君健康のためにこれ程骨を折るとは思はなかつた」

學藝消息

△G氏文學賞決定　昨年中滿洲に於いて發表された文學作品より選ぶるG氏文學賞第二回の分は吉野治夫氏作「手記」に對して贈ることに決定した

書架

本欄紹介希望の新刊は本社編輯局宛一部御寄附相成度し（係）

△東亞商工經濟（二月號）關東州內外工業の課稅負擔比較、北支港灣の開發と管理經營に就て、昭和十一年度關東州工業の槪觀、近代的工業より觀たる北支那、經濟時事等（大連市敷島町八二、大連商工會議所、五十錢）

△書香（一月號）島田好「大滿歷朝實錄」槙川次郎「極東政策に關するアメリカの書籍二、三」鈴木俊「支那の書目について」（大連市東公園町、滿鐵大連圖書館、五錢）

△實業之世界（二月號）山崎靖純「戰時財政經濟の新展開」鮎川義介「私が蹶起した心境を語る」野依秀市「四度失敗の辯」「池田成彬氏の縱橫談」田中生「滿洲重工業の新陣容」等仲々活氣ある編輯振りである（東京市芝區芝公園五號地、實業之世界社、四十錢）

△正金週報（一月廿八日號）十一月本邦貿易の數量並に單價統計、一九三七年の國際爲替等（橫濱正金銀行調査課）

△新京商工月報（一月號）滿洲特產物輸出上より見たる北鮮三港、勤勞所得稅法に關する座談會、經濟時報、經濟市況、所報等を盛る（新京吉野町三丁目七、新京商工會議所、五十錢）

△業務資料（一月號）「產業五ケ年計畫遂行途上に於ける昭和十二年度の社業回想」青木太郎「廣告放送に於ける奉仕主義」「標語の財產性を論ず」等（滿洲電信電話株式會社調查課、三十錢）

△女醫界（二月號）吉岡彌生「近況隨筆」その他（東京市麴町區飯田町一ノ二八、至誠會）

森永ほうじ茶

香り自慢で　味の良い

あすの佳節に展く 國都の愛國運動
四日間に亘り日滿總動員 盛んな細目行事決定
精神作興市民大會

二月十一日非常時局下の紀元節を迎ふるに當り日本では國民精神總動員計畫のもとに非常時克服を目指してゐるが、滿洲國の國都新京でも愛國運動首都聯盟主催のもとに奉祝式典、精神作興市民大會を開催することとなつたことは既報の通りであるがその細目行事につき九日左の如く決定した

▽二月十一日（紀元節）
―奉祝式典―
一、場所 新京神社
一、集合時刻 午前九時三五分
一、開始時刻 午前九時四五分
一、式次第
（1）新京神社參拜
（2）開式 村田滿鐵庶務課長
（3）日本國旗揭揚、國歌齊唱 指導者 大塚
（4）滿洲國旗揭揚、國歌齊唱 揭揚者 片桐、野本
（5）宮城遙拜
（6）謹話 星野總務長官
（7）大日本帝國萬歲
（8）滿洲帝國萬歲 來賓中より依囑
（9）閉式 横田市公署庶務科長
一、十一日―宮城遙拜―
一、奉祝時間 午前十時を市民奉祝の時間として全市民宮城を遙拜する筈 通知は「ラヂオ」にてもなす筈
―精神作興市民大會―
一、場所 記念公會堂
一、開始時刻 午後二時
一、次第
（1）軍樂隊演奏
（2）主催者挨拶 長谷川放送局長
（3）時局講演 題未定 關東軍永井參謀
天孫再降臨 協和會中央本部
（4）軍樂隊演奏 武藤宣傳科長
（5）愛國行進曲普及（指導 新京合唱團）
（6）閉會 會長 首都警察警務科長
▽二月十二日は各協和會分會で自主的に忠靈塔に向つて愛國行進を行ふ
▽二月十三日
―銃後婦人の集ひ―
一、場所 協和會館
一、開始時刻 午後一時三十分
一、次第
（1）主催者代表挨拶 星野國防婦人會新京支部長
（2）時局講演 駐滿海軍部 代谷參謀長
協和會中央本部 古海指導部長
（3）音樂
（イ）管絃樂 新京交響樂團
協和行進歌
美しき碧き「ダニューブ」河沿ひて
（ロ）獨唱（題未定） 清水英子 伴奏 和泉初音
（ハ）合唱 新京合唱團
イロハ唄
（4）愛國行進曲
（5）映畫事變ニュース
（6）閉會 皆川國防婦女會副支部長
―銃後の奉仕―
一、遺骨出迎（參加分會は一分會三名以上、分會旗捧持）京濱線新京驛着午後四時二十分（總務廳、恩賞局、營繕需品局、地籍整理局、經濟部、滿拓、採金、富士區、朝日區、鐵北區）京圖線新京驛着午後七時卅五分（外務局、司法部、治安部、產業部、交通部、日滿商事、生命保險、入船區、三笠區、電々）
二、通夜（參加分會は一分會三名以上、分會旗捧持）太子堂午後八時卅分（中銀、興銀、大德、電業、祝區、吉野區、中央區、民生部、市公署、協和會本部）
▽十四日（元宵節）
一、遺骨奉迎新京驛出發（南下）午前十時卅分（滿鐵、滿炭、大東、大興、開發、日本橋區、白菊區、西廣場區、交通會社、計器公司）
十一日より十四日本運動期間中は全市各戶になる可く日滿兩國旗を揭揚せられ度いと

部大臣賞授與詮衡の範圍に入れる筈である

第二回建國記念文藝原稿募集
民生部から規定發表

民生部では今回建國精神に基き詔書の趣旨を奉體し日滿一德一心、民族協和、東方道德の眞義を顯揚する趣旨の下に第二回建國記念文藝原稿を募集することになつたが、募集の種類は第一部創作（小說、戲曲）、第二部國民歌謠（俚謠、民謠）、第三部放送劇及び放送物語であり、滿洲帝國の建國を記念し、大いに文運の隆盛を期する筈である、募集要項左の通りである

▽第一部 創作（小說、戲曲）
一、用語其の他 日滿語何れにても可、四百字詰原稿用紙五十枚以內、一人一篇、筆名使用者は別に本名明記の事
二、締切期日 五月三十日
三、原稿送先 民生部社會司社會科
應募者は封書に「建國記念文藝原稿」と朱書のこと（以下同じ）
四、銓衡方法 建國記念文藝審查委員會において審查し入選作を決定す
五、賞金 一等百圓（日滿一篇）、二等五十圓（日滿一篇）佳作薄謝を呈す
六、發表期日 六月卅日

▽第二部 國民歌謠（俚謠、民謠）
一、用語その他 日滿語何れにても可、一人一篇、筆名使用者は別に本名明記の事
二、締切期日 五月卅日
三、原稿送先 民生部社會司社會科
四、銓衡方法 建國記念文藝原稿審查委員會において審查し入選作を決定す
五、賞金 一等百圓（日滿一篇）、二等五十圓（日滿一篇）佳作薄謝を呈す
六、發表期日 六月卅日
七、發表方法 新聞紙上及び東方國民文庫により發表す

▽第三部 放送劇及び放送物語
一、用語其他 日滿語何れにても可、一人一篇で四百字詰原稿用紙三十枚以內、筆名使用者は本名明記のこと
二、締切期日 五月卅日
三、原稿送先 民生部社會司社會科
四、銓衡方法 建國記念文藝審查委員會に於て審查せし入選作より決定す
五、賞金 一等百圓（日滿各一篇）、二等五十圓（日滿各一篇）、佳作薄謝
六、發表期日 六月三十日
七、發表方法 新聞紙上及び放送並に東方國民文庫に依り發表す

たほ本應募原稿は一切返還せず、當選作の著作權は民生部に歸屬し、本應募作品は民生

畏し皇后陛下
重ねて戰傷兵に繃帶御下賜

【東京國通】皇后陛下には酷寒の山野において名譽の戰傷を受けた將兵の上を思召され九日重ねて繃帶下賜の御沙汰あり、小泉陸軍省醫務局長は午前十時皇后宮職に出頭廣幡皇后宮大夫より拜受、御仁慈に恐懼感激して退下した

シーズン近し 戰捷の春競馬
全滿競馬スケヂユール
新京は四月廿三日から

春近く窓邊の日差しも段々強くやがて野に緑が萌えて人々は重いオーバーをぬぎすてゝ戶外へと飛び出すことであらう、長い冬籠りの生活に飽いた人達は春の跳躍を待ちかねてゐる、その春の動きを報ずる先陣を承はつて康德五年度全滿競馬のスケジュールが發表されたが、戰捷景氣に煽られて爆發的人氣を豫想され競馬マニアの胸はもう一攫千金を夢見て張切つてゐる

▽新京 春季第一次（四月）二三、二四、二九、三〇、第二次（五月）一、二、七、八、二二、二七、二八、二九（六月）二、四、五、第三次（六月）二四、二五、二六（七月）一、二、三、九、一〇、秋季第一次（七月）三〇、三一（八月）一、六、七、第二次（八月）二四、二五、二六、二七、二八（九月）一、三、四、一〇、一一、第三次（九月）二四、二五、二六（十月）一、二、三、八、九

▽哈爾濱 春季第一次（四月）二三、二四、二九、三〇（五月）一、七、八、第二次（五月）一四、一五、二一、二二、二五、二八、二九（六月）五、一一、一二、第三次（六月）一八、一九、二五、二六、秋季第一次（七月）二三、二四、三一（八月）六、七、一三、第二次（八月）二〇、二一、二七、二八（九月）三、四、一〇、一一、第三次（九月）一七、一八、二四、二五（十月）一、二、八、九、一六

▽奉天北陵 春季第一次（五月）六、七、八、九、一三、一四、一五、一九、二〇、二一、二二、第二次（六月）三〇（七月）一、二、三、四、七、八、九、一〇、一一、一二、秋季第一次（八月）二七、二八、二九（九月）一、二、三、四、八、九、一〇、一一、第二次（十月）七、八、九、一〇、一五、一六、一七、二〇、二一、二二、二三

▽安東 春季第一次（四月）二三、二四、二五、二七、二八、二九、三〇、第二次（五月）二七、二八、二九（六月）二、四、五、一一、一二、第三次（七月）一、二、三、四、八、九、一〇、一一、秋季第一次（八月）一九、二〇、二一、二三、二六、二七、二八、二九、第二次（九月）一七、一八、二四、二五（十月）一、二、三、四、第三次（十月）二二、二三、二四、二五、二七、二八、二九、三〇

▽撫順 春季第一次（三月）二六、二七、二八（四月）一、二、三、八、九、一〇、一一、第二次（五月）二六、二七、二八、二九、三〇（六月）二、三、四、五、六、秋季第一次（七月）一六、一七、一八、一九、二三、二四、二五、二九、三〇、三一、第二次（九月）一六、一七、一八、二三、二四、二五、三〇（十月）一、二、三

▽鞍山 春季第一次（四月）一六、一七、一八、二三、二四、二八、二九、三〇（五月）一、第二次（六月）一〇、一一、一二、一七、一八、一九、秋季第一次（八月）六、七、八、一二、一三、一四、一五、二〇、二一、第二次（十月）二七、二八、二九、三〇、三一（十一月）三、四、五、六、七

▽營口 春季第一次（五月）七、八、一三、一四、一五、二一、二二、二七、二八、二九、第二次（七月）一、二、三、九、一〇、一六、一七、二三、二四、二五、秋季第一次（八月）二六、二七、二八（九月）一、二、三、四、九、一〇、一一、第二次（十月）一、二、三、八、九、一五、一六、一七、二二、二三

▽金州 第一回（四月）一五、一六、一七、一八、二二、二三、二四、二五、第二回（七月）二二、二三、二四、二五、二八、二九、三〇、三一、第三回（九月）九、一〇、一一、一二、一六、一七、一八、一九、第四回（十月）二二、二三、二九、三〇、三一

▽旅順 第一回（四月）二、三、四、八、九、一〇、一一、第二回（五月）二七、二八、二九、三〇（六月）三、四、五、六、第三回（八月）五、六、七、八、一二、一三、一四、一五、第四回（十月）七、八、九、一〇、一四、一五、一六、一七

▽大連 春季（四月）二九、三〇（五月）一、七、八、九、一四、一五、二〇、春季臨時（六月）一八、一九、二五、二六（七月）二〇、二一、二二、二三、秋季（八月）二〇、二一、二七、二八（九月）一、二、三、四、秋季臨時（九月）二二、二三、二四、二五（十月）一、二、八、九、特別（未定）（十一月）三、四、五、六、一一、一二、一三、一四

萬引常習捕はる

九日午後一時頃吉野町十七番地路上に於て擧動不審の一半島人を警戒中の中央通署谷本隈兩刑事が發見本署に連行嚴重取調べ結果、右は本籍朝鮮忠清北道陰城郡邑內里特別市五馬路永升客棧北宿無職福島義一こと朴福成（二八）で朴は本籍朝鮮全羅南道光州府本町四丁目十九無職金永童（二六）と共謀、去る一日寶山百貨店に於て訪問着五反時價三百圓及オーバー一時價八十圓を竊取したほか市內百貨店を荒し廻つた萬引常習犯と判明、共犯者金は同日午後三時頃前記客棧に於て逮捕したが餘罪多數ある見込みで目下嚴重追及中である、尙朴は強度のヘロ中毒患者である

バス新車三十台 三月までに到着
即時配車を期し調査實施

新京交通會社では曩に市民の足新車バス三十台の注文を發したが愈よ三月迄には到着することゝなるので配車方法研究の爲め八、九の兩日に亘り午前七時より終車迄の各停留所の乘降客の調査を爲した、八日は主として八、二號線、九日はその他の全線を調査したが、この結果に基いて新車到着と同時に配車を決定することとなるので市民の足も相當緩和されることとならう

森情報官一行滯京日程

內閣情報部情報官森巖夫氏一行の新京に於ける日程は左の通りである

十四日午後二時哈爾濱より着京、同夜六時より總理官邸で總務長官招待
十五日午前九時三十分新京神社、忠靈塔參拜、同十時關東軍司令部、大使館訪問、同十一時國務總理と會見、正午大使館參事官招宴、午後二時南嶺戰跡訪問、市中視察、同四時外務局長官、弘報處長主催茶會（中銀俱樂部）同六時關東軍參謀長招宴
十六日午前八時ひかりで離京歸國

全滿都市對抗氷上戰準備打合會

來る十三日西公園で擧行せられる全滿都市對抗スケート大會はA級六都市、B級四都市の參加を得て近來にない盛況が豫想されるに至つたが、九日午後七時より大都グリルに於て、體育聯盟田中主事を始め大使館齋藤氏、山口市立醫院長、敷島女學校堺田教諭、新京ホッケー佐々木氏、中銀田中氏、新京商業中島教諭、新京中學村上教諭、八島小學校森田訓導等が參集して大會當日の諸準備打合せ「どの都市が勝つか」等の豫想座談會を行ひ八時過ぎ散會した

偲ぶ故人の努力
故板垣翁の銅像除幕式に 喜びを語る令孫守正君

憲政の功勞者伊藤博文、板垣退助、大隈重信三巨人の颯爽たる銅像が白亞の議事堂構內に建立され、紀元節の佳日をトし憲法發布五十周年記念の盛大な式典とゝもに豪華な除幕式が行はれるが、この喜びの日を遙かに異境の地新京で心待ちにしてゐる一人に板垣自由翁の令孫板垣守正氏（三九）がある、氏は東大社會科を卒へると文筆を執つて文壇にデヴューし戲曲「自由黨異變」で大センセーションを起したが後文筆を拋つて政治運動に身を投じ往年の自由翁を偲ばす大雄辯を振つて青年運動、亞細亞民族運動に馳驅し華冑界出身にしては異彩を放つてゐたが、一昨年春渡滿して協和會に入り現在中央本部宣傳主任として元氣な働き振りを示してゐる、同氏を協和會中央本部に訪へば協和服に身を固めて內地時代の美髯を落しすつかり鬪士型に還つた守正氏は「先人を語ることは成るたけ許して頂きたいですが」と謙遜しながら銅像除幕式に對する感想を語つた

今度の歷史的な盛儀のことは東京の新聞で承知して居ります、遺族の一人として政府や議會の方々の御厚意を感謝して居ります、故人の榮譽極まれりと申さなければなりません、新京にあつてこの盛儀に參列さして頂けないのが殘念です、別に仰々しく感想とてもありませんが、銅像を建てゝ頂いた三人の蔭に幾多立派な憲政運動の獻身的の涙ぐましい努力の集積があつたことをこの機會に偲びたいと思ひます、協和會に入つて國を造り國を育てゝ行くといふことが一朝一夕の業でないことが解れば解る程この感を深くするわけです

遺骨三十九體
十三日午後着京

護國の華と散つた皇軍戰歿勇士の遺骨は十三日午後四時二十分着列車で哈爾濱より三十八體、同七時三十五分着列車で吉林より一體到着、中央通より祝町に折れて太子堂に奉安御通夜に入り八時三十分より讀經、九時三十分より詠歌和讃を行ひ翌十四日午前十時三十分發列車にて南下內地原隊へ歸還するが、國民精神總動員週間のこととて多數市民の送迎御通夜參列を希望されてゐる

接收警察官に特別教育

警察權接收後首都警察廳に於ては管下警察官の素質向上のため殊に警尉補以下の接收職員に對して精神訓育並に滿洲國の特殊事情に精通せしむる法規的教養を授け執行の萬全を期さんとして新京地方警察學校に入學せしめるべく豫て計畫中であつたが該當警察官の配置並に勤務關係及地方警察學校の施設等の點より困難視せらるゝのでこれを變更して左の如くこれ等警察官の特別教育を實施する事となつた

▲日系警察官、四月十五日より五月十四日まで、中央通署講堂に於て
▲接收滿系、朝鮮人警察官、二月十五日より四月廿日まで新京地方警察學校に於て
▲滿系警察官、五月十五日より八月十五日まで新京地方警察學校に於て

鈴木記者遺骨きのふ南下

北支戰線の散華、滿洲國通信社太原支局長鈴木二郎氏の遺骨は新京に於ける懇なる葬儀も無事終了したので九日午後二時十分新京驛發あじあで各方面の盛大な見送りをうけ中屋同盟社員に護られて懷しき東京歸還の途についた

小學校對抗ホッケー戰

新京小學校對抗アイスホッケー戰第三日は九日午後三時より白菊校にて室町對白菊、西廣場對八島を行ひ室町、西廣場勝つ

室町 2 {1 0 1 / 1 0 0} 1 白菊
西廣場 1 {1 0 0 0 0 / 0 0 0 0 0} 0 八島

市公署で一番苦勞の多いのは何といつても鯉沼財務處長である市民に過重な負擔をかけない樣になるべく多くの稅金をとらうといふのだから無理もない▼この一番忙しい鯉沼氏と一番無風狀態にある村川衛生處長が同じ部屋にゐるのは一寸皮肉みたいだ▼新稅の問題で鯉沼氏が盛んに辯じ立てゝゐるとぶらりと村川氏がお隣りからたすけ舟にやつてくる衛生の本尊樣村川氏と一緒になつてから鯉沼氏不思議に風邪をひかなくなつた正に一擧兩得といふもの▼この名配合をやつてのけた横田庶務科長せまい部屋で庶務股長の黒田君と何かごそごそ秘密話をやつた後「こゝは眺めが良くて良いね」と大同廣場を見下す▼春が來て綺麗な娘さんが表を通る頃ともなればさぞかし仕事が手につかんことぢやらう、先年夫人を亡くした美男科長人が氣にするのも無理のない話

天氣と氣溫
けふの天氣 南西の風曇
日の出 前七時四六分
日の入 後六時〇分
きのふの氣溫 最高零下三度三 最低零下二一度

義人長七郎

（映画上演）中川雨之助 作　二郎 畫

（百五十九）

兒の悩み（一）

しかし英之助は、格別驚きはしなかつた。

「やつぱり、わしの思つてゐた通りだ」

彼は、殆ど、それを豫期してゐたもののごとく、嘆息するのでした。

しかし後から來る妹の歩調の急に力の脱けたのを感じると、彼もさすがに胸を痛めずには居られませんでした。

とぼ／＼と歩く二人の頭上を、群にはなれた夜鳥が、悲しげに侶を呼びながら飛んで行きました。

それからといふもの、長七郎はふつゝりと來なくなつてしまひました。

毎日のやうに來て居たものが、ふつゝり來なくなるといふのは、寂しいものです。

「長七郎さまは、到頭けふも、お見えになりませんでしたねえ」

香島は、又しても長七郎の話を仕かけるのでした。

それは長七郎が來なくなつてから、もう三日目の夜です。

「うむ、來なかつたなあ」と、英之助は柱にもたれて、膝を抱へながら、氣の無い返事をします。

香島は、火鉢のそばで、所在無げに、灰を掻き靡らしなどして居ますが、氣のせいか、その横顔にめつきりと窶れが來たやうに、英之助には見えるのでした。

「おまへ、眼に痩せたやうだのう。氣分でも惡いのぢやないか」

「いゝえ」

やゝ周章て、顔を上げた香島の眼は潤んで居ました。

「長七郎殿の來ないのが、そんなに淋しいのか」

「いゝえ、そんなことはありません」

「吾々は、何の爲に、江戸に來てこんなに苦勞をして居るか、おまへはよもやそれを忘れはしないだらうなあ」

英之助は、いつか腕組して居ました。

香島は、チツと身動きもしなくなりました。

「御墨付の詮議と、父の仇、この二つを忘れるほど、愚かでもあるまい。その望みを遂げるまでは、再び高輪の土地へ、足を踏み入れることの出來ないわれ／＼なのだ」

香島の鬢の毛が、顫へてゐます。

「長七郎殿の來られぬ事は、わしも寂しい。寂しいには違ひないが必ずしもわしは、來て欲しいと、望んでは居ない……なぜといつて考へてみるがいゝ、彼の人は、もう吾々の友達でなく、謂はば敵も同然の人なのではないか……」

思はず、こちらを振り向いた香島の顔に、兄の言葉を解し兼ねるやうな色が浮いてゐます。

「一つの御墨付を、兩方で取り合ふといふことが既に無理なのだ。その無理を徹さうとすれば、いやでも長七郎殿と、爭はねばならないのだ。そこだ、考へねばならないのは……のう、香島、大望の爲には友達も捨てねばならぬ。それくらゐのことはお前にも解るだらう？」

「……はい……」

「恐らく、長七郎殿も同じことを思つて居られるに違ひない。其の證據に、彼の人もふつゝり來なくなつたではないか」

「でも、それならそれと、せめて手紙なりと、打明けてくだされても、宜さそうに思ひます」と、怨じるやうに、香島は、漸く口を切りました。

「いま長七郎殿に、面と向つて、吾々の決心を言へといつた處で容易く言へるものでない。それと同じやうに、長七郎殿も、言ふに言へない苦しみに惱んで居られることだらうよ」